

疫学調査「口腔がん登録」について

加古川中央市民病院口腔外科は、公益財団法人 日本口腔腫瘍外科学会の疫学調査に参加しております。内容については下記の通りとなっております。

尚、この研究についてご質問などございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

人口の高齢化に伴い口腔がんの罹患患者さんは増加しているといわれていますが、正確なデータは存在していません。口腔がんは希少がんのひとつであり、その治療成績を向上されるために多くの施設から疫学的データを把握する必要があります。下記 2 点を目的に疫学的データを集めます。

- ①口腔がんの派生頻度、年次推移、地域差、リスクファクター、病態、予後などを正確に把握し日本における口腔がんの医療の評価、発展に役立てる
- ②将来の口腔がん研究のための基礎的データとする

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

2018年1月1日以降に受診し、口腔がんと診断された方の診療録より下記データを収集いたします。

年齢、性別、来院経緯、病態、生活習慣（喫煙歴、飲酒歴、慢性刺激の有無等）病態の情報（診断日、部位、治療内容等）及び経過観察結果等

【個人情報保護の方法】

研究実施に係る情報を取扱う場合は、研究対象者の個人情報とは無関係の番号を付して、対応表を作成し、連結可能匿名化を行い秘密保護に十分配慮する。対応表は施設の個人情報管理担当医師が管理するため公益財団法人 日本口腔腫瘍外科学会では個人特定はできません。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：通常診療の情報を用いており、データをご提供いただいた患者さんの個人には特に利益になるようなことはございません。

不利益：カルテからのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

本研究に係る情報（データ）は日本口腔外科学会の施設可能な書庫に暗号化された電子データおよび書類にて管理する。データセンターではACReSS上で、研究終了後5年間保存します。

【研究成果の公表について】

研究責任者は研究が終了した場合は、遅延なく結果を公表します。公表の際には研究対象者の秘密は保全します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さんのデータを用いたくない場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータは本研究に用

いることはありません。しかしながら同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように廃棄できない場合もあります。

[問い合わせ窓口]

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究プロジェクトに関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 歯科口腔外科

橘 進彰

連絡先：079-451-5500